

立冬 フランス石割農園



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



2016年春からフランスノルマンディー地方で京野菜を作る試みを始めました。農水省はTPP体制に対応するために農産物の輸出拡大が必要！と煽りますが、作物は気候と土壌とヒトが作るもの、日本が輸出できるものは野菜じゃなくて生産者の腕前そのものだ！と考えて、石割師匠を口説き落としてさっさとフランスに来てしまいました。種子や苗の輸出検疫、日照時間と気候と土壌の違い、ムシと獣とトリの食害、現地ワーカーの技倆と考え方の違い、環境からの規制、売り先の開拓、などなど解決しなければならない問題が山積。ぜんぜん駄目な作物もありますが、コカブやミズナ、キャベツ、九条ネギなどはまあまあ出来はじめました。今年の立冬は現地で収穫作業をしています。

